

様式3 【物・文化財・風景など実体のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可) 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし		2. 森の恵み 5. 森の文化財		3. 森と技 6. 森の風景	
分野 (ふりがな)	(分野) 信 仰		(ふりがな) しんこう			
地域独特の呼び方	オシンメさま		おしんめさま			
タイトル	オシンメイさま					
伝承地域	田村市(旧船引町)、三春町、郡山市の中通り、喜多方(旧山都町、塩川町、熱塩加納村を含む)、会津若松市、いわき市及び相双地方と広く見られる。ただ、奥会津地方は少ない。					
由来 (年代)	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで(いつまで)伝えられてきたか) 由来は不明。青森、岩手、宮城県ではオシラ様と呼び、オシンメイ様と同形の男女一対及び馬・娘の頭部のものがある。これには蚕の縁起がある。(馬娘婚姻譚)。					
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 福島県内のオシンメイさまは男女1対木像がほとんどで、その形態は頭部が出ている貫頭型と頭部を包み込むような形の包頭型のものが多い。 毎年3月ごろ、「衣着せ」と言って布を着せる。喜多方地方では、「オシンメイさまの年取り」と言って、オシンメイさまを所持する家に集まりお祝いをする。子どもたちが招待され、子どもたちも楽しみにして行った。オシンメイさまを祀ることを、「アソバセル」という。病気の時などには、巫女を頼みお供え物を上げ、オシンメイさまを拝んでもらう。また、頭痛や腰痛の時にはオシンメイさまで叩いてもらおうと身体が軽くなり、治ると言う。 会津地方では、オシンメイさまが人により移って消息などを占うこともある。これは、主に主婦が祀る。					
大きさ・材質	(大きさ：緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの。)		(材質)			
見頃	—					
交通アクセス	—					
文化財等の指定状況	—					
問い合わせ先	電話					

【フリーフォーマット】

キーワード

写真は、会津民俗資料館(猪苗代町)にあるオシンメさま。大きさは約 30cm。



(会津民俗資料館)